

兩丹回日新聞

2007年(平成19年) 1月23日 火曜日

会社経営の難しさ実感

大江高ソフト
経済科3年生

仮想企業の総括

福知山市大江町金屋の大江高校(盧田平校長)で22日、ソフト経済科3年生51人がインターネット上で運営してきた「バーチャルカンパニー(仮想企業)」の最終報告会が開かれた。地元企業などの支援を受け、6社を運営してきた生徒たちが、設立以来約5カ月間の事業内容と決算を報告し、商開発や社員意識疎通など会社経営の難しさを語った。

社長、総務人事、企画、営業、経理と役割を決めて運営してきた。報告会には、支援を受けた衣料メーカー・グンゼと大江町商工会から講師3人を迎えた。会社の経営理念、開発した商品など事業内容、決算を報告したあと、感想を述べた。「目玉商品を作れなかった」「全員で話し合いがあまりできなかった」と反省点をあげる一方、「自分の仕事に責任を持てるようになった」「協力することの大切さを実感した」と成果を紹介していた。

講師からは「売れなかつたときにどうアクションを起こすが大事。中程に頑張つてほしい」と間報告の際にアドバイス。講師を受けていた。



会社ごとに事業内容や決算を報告した